資料３

産業振興計画改定に係る大学との意見交換会について

開催日：令和８年１０月２３日（金）午前１０時～　＠産業振興センター会議室

参加大学

高千穂大学　経営学部　教授　城　裕昭　先生

東京女子大学　現代教養学部　経済経営学科　地域デザインコース　准教授　岡田正幸　先生

計画改定についての主な意見と示唆

分野	主な意見	計画への示唆
人材確保・就労	売り手市場により中小企業の採用は厳しい。 大学との連携や多様な働き方への対応が必要。	インターンシップや多様な就労支援の強化
デジタル化	デジタル化について、何から始めればよいか分からない事業者が多いのではないか。	成功事例の共有、伴走型支援の充実
商店街	地元住民に必要とされる商店街を目指すべき。事業承継対策も重要。	地域課題解決型商店街への支援 空き店舗対策
アニメ	観光施策としてだけでなく、産業として支援すべきではないか。	杉並の特色ある産業として、人材確保や事業継続支援の充実
都市農業	都市農業は教育・体験など多面的価値を有する。	杉並らしい都市農業の発信強化

産業振興センターと大学との連携事業について（案）

資料３

区は、学生と地域住民・事業者との交流の促進、学生の実践的な学びや研究機会の充実、地域課題の解決や新たな価値創出等を目指し、区内大学と連携した取組を実施していく予定です。

～　観光まちづくり編　～

R9実施案

01　学生観光アンバサダー（仮称）に任命　まずは「まちの個性」を知る

・フィールドワーク、調査・マーケティングなどにより、学生ならではの視点で地域の魅力を掘り起こす、地域での観光事業会議への参加　など

02　「見る観光」から、「つながる観光」へ

・学生がテーマを選び、地域とつながる杉並ならではの**リアルな体験**を企画・実践
（食べ歩き・まち歩きツアー、商品開発、イベント、冊子の作成など）

03　効果検証

・アンケート等による効果検証、地域での観光事業会議で成果・課題をフィードバック

次年度につなげる

～　商店街編　～

今年度（R8）の取組

これからの商店街を考えるワークショップを開催

商店街　大学　杉並区

ワークショップで考えること

- 商店街・地域の課題、今後やってみたいこと
- 複数商店街で取り組む新たなイベントのアイデア
- 学生の視点を生かした企画・情報発信
- Instagram等のデジタル活用も意見交換

次年度の「参加商店街・大学・企画の方向性」まで整理

次年度（R9）の取組

商店街×大学×杉並区

① 前年度のメンバーで企画を具体化

② 複数商店街による合同イベントを準備

③ 学生も企画段階から継続して参加

④ イベント実施・SNS等で情報発信